

ようこそ！！地学のせかいへⅦ

大阪府高等学校地学教育研究会

1. メッセージ・・・「地学伝え隊」ってなあに？

みなさん、こんにちは。「地学伝え隊」です。私たちは、大阪の高校で「地学」を教えている先生です。「地学のおもしろさを伝えるための仲間」→「みんなでたくさんの人に地学を伝えていきたい」→「地学を伝えたい」→「地学伝え隊」というわけです。

2. いろいろ見てみよう、やってみよう

①ビーズで星座のしおりをつくろう

夜空をみるといろいろな星がかがやいています。星にも色があるのに気がついたでしょうか。好きな星座のしおりを選び、星の位置にビーズをはりつけていきましょう。そのとき、星の色や大きさにあわせて、はりつけるビーズの色や大きさをかえましょう。



点のような星にもいろいろあり、色や大きさの違いがあります。「星」というだけでなく、「どのような星」かを見ましょう。

②岩塩から塩の結晶を取り出そう

色の白い岩塩を、カッターを使って割っていくと見事な立方体の透明な塩の結晶を取り出すことができます。カッターの使い方に注意しながら立方体の晶を取り出そう。世界各国の岩塩を見てみましょう。

そのほかにもいろいろな地学に関係した展示があります。当日のお楽しみです！！



③鉱物のステンドグラスをしおりに・・・光と鉱物の不思議な世界

みなさんは岩石をじっくり観察したことがありますか？ 岩石をうすくけずって厚さ0.03ミリぐらいにすると、すきとおって見えます（これを岩石薄片（はくへん）といいます）。この岩石はくへんを、「偏光板（へんこうばん）」という板をとおして見ると、まるでステンドグラスのようなうつくしい色の粒々がたくさん見えます。この粒々の一つ一つが岩石をかたちづくる鉱物（こうぶつ）の結晶なのです。

今回は、このうつくしい鉱物の姿を携帯電話（けいたいでんわ）のカメラなどで写真をとって、しおりにしてみましょう。

そのほかにも、光を色ごとに分けたスペクトル（虹）の写真など楽しい写真のうつしかたも紹介します。



④化石三種。観察する・磨く・型取りする。

化石というのは、昔の生物の骨や殻などが、地層にうもれて固くなってしまったものです。大きさも顕微鏡で見るとような小さいものから、部屋に入りきれない大きなものまでいろいろあります。今回は3種類の化石について観察をします。

①放散虫というプランクトンの化石を顕微鏡を使って観察します。

②少し大きめのポウスイチュウなどが入った石灰岩をペーパーで磨きます。

③アンモナイトという頭足類の化石を樹脂で型どりします。

3. 注意

特に危険な実験はありませんが、先生の言うことはよくきいてくださいね。

4. 問い合わせ先

井上純子 大阪府立大手前高等学校

電話 06-6941-0051

FAX06-6941-3163